



きりんぐみ

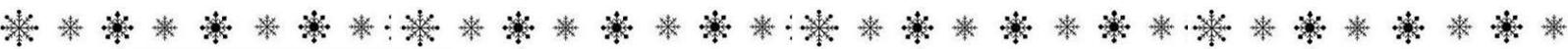
2月 おたより

尚徳福祉会 生麦保育園

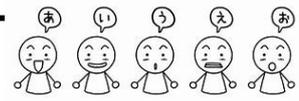


一年で最も寒さの厳しい季節となりましたね。寒くて凍えてしまいそうな日もあれば、今日は上着いらねえ！という声が飛び交い、太陽の暖かさを感じられる日もあり、体調管理が難しい今日この頃です。

先日、お散歩の道中に花壇に目を向けると『霜柱』が隠れていました。保育者が「あ、霜が下りてる！」という「しもってなぁに?」「みせて!」と興味津々な子どもたち。そこで、氷鬼で遊ぼう♪から、霜柱を探そう!に変わりました。「ここは太陽のひかりがあたってるから溶けちゃってる!」と、自然現象の気付きも多くありました。「花壇の霜柱を取ってしまうとお花が可哀想だよ」という話もあり、寒い日にまた違う公園や園庭の日陰で探してみよう!ということになりました。様々なことに興味・関心を広げている子どもたちです♪



「これなんてよむの?」「これは“み”だよ」



「わたしおなまえかけるようになったよ!」

少し前までは、そこまでひらがなや文字に対して興味をわいている子どもは多くなかったのですが、ここ最近になり多くの子どもに、興味が出てきたようです♪「むずかしいな」という子どもには、そばに寄り添い何の文字を書きたいのか尋ねます。すぐに教えるのではなく、まずひらがな表を持ってきてもらい自分の書きたい字を探す。そして、見本を書いてみせて一緒に書いてみる。そのような流れで行っています。書き順は、見ていて気になるかもしれませんが、まずは書いてみようという心を育てようという心を守っています♪興味・関心が向き「見てー!」と持ってきて見せてくれた時には、たくさん褒めてあげてくださいね★



😊ちよこっとエピソード😊

ある日の給食での出来事です。その日はみんなの大好きな『ゆかりのふりかけ』の日でした。「やったー!ゆかりだ!」「せんせい、いっぱいかけてください♪」「いっぱいかけたらしょっぱいよ〜」などと会話が弾みます。

保育者が「あ、ここにも点字があるんだ」と気が付き、つぶやきました。子どもたちは、その声に興味津々。

「せんせい、てんじってなぁに?」と質問がありました。実際に『ゆかり』と書かれた点字に触れてもらい、「ほんとだー!」と関心の様子。点字は目が見えない人のための文字なんだよ、と保育者が伝えるとみんなその話真剣に耳を傾けていました。その日の給食は、話が弾みすぎて時間が大幅にオーバーし、みんなで時計を見て大焦りしましたが(笑)、様々なことに興味を抱き、関心を広げていく子どもたちの成長した姿に嬉しくなりました。♪

その日のお昼寝前の読み聞かせの絵本は、『めがねをかけたら』という本を選びました。点字の話、点字ブロック、眼鏡の話とその日はたくさんのことについてみんなで話し合いをする日になりました。

日々の生活の中で、色々なことを吸収し、様々なことに興味・関心を広げて、心の豊かな子どもたちに育てることに、なんだか胸が熱くなりました。♪